

令和元年12月

施設長 殿
放射線取扱主任者 殿
放射線業務従事者 殿

放射線障害防止中央協議会
会長 山下 孝

令和元年度(春期)「放射線安全管理研修会」のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から間もなく9年になろうとされていますが、被災された方々の心労はまだ癒されたと言えない状況かとお推察いたします。あらためて心からお見舞い申し上げますとともに、震災後の復旧、復興に今なおご尽力されておられる皆様には、更に健康・安全に留意されてご活躍されますようお祈りいたします。

さて、当協議会は、放射性同位元素等を取り扱う皆様の認識を高め、安全管理を徹底し、放射線障害の発生を未然に防止するよう適切な対策の検討・推進をしていくことを目的に、関係機関が集まり、相互協力のもと自主的に活動する機関として昭和49年に設立され、研修会等の諸活動を実施しております。

本研修会はその活動の一環として、公益財団法人原子力安全技術センターとの共催並びに公益社団法人日本アイソトープ協会及び医療放射線防護連絡協議会の協賛により開催するものです。

今回の研修会の午前は、厚生労働省(労働基準局安全衛生部労働衛生課)電離放射線労働者健康対策室高山室長から「医療における職業被ばくの管理」と題しての講演が、引き続き「放射線の生態影響と物理-原発事故後の周辺環境問題を考える」と題して専門家からの講演を予定しております。

午後は、長年、放射線計測機器の研究や計測に携わってきた研究者から「放射線計測と防護単位シーベルト」についての講演が、引き続き、核医学、内照射療法を専門とし、全人的な医師や看護師の養成の為に多岐にわたって活躍中の専門医から「核医学診療の最前線」と題しての講演が予定されております。

最後は特別講演として、長年、国際的な放射線防護分野で活躍された専門家から、「放射線防護の国際的な枠組みとUNSCEAR活動」と題しての講演を予定しています。

本研修会は、第一線で活躍する様々な分野における専門家を講師に迎え、時宜を得た講演を受講することができる貴重な機会であり、放射性同位元素や放射線発生装置等取扱事業所の安全管理に携わる皆様、並びに、放射線にご関心をお持ちの皆様にとって非常に有益な情報を得ることのできる内容になっております。

関係各位には、本研修会に奮ってご参加頂けますよう、ご案内申し上げます。

敬具